

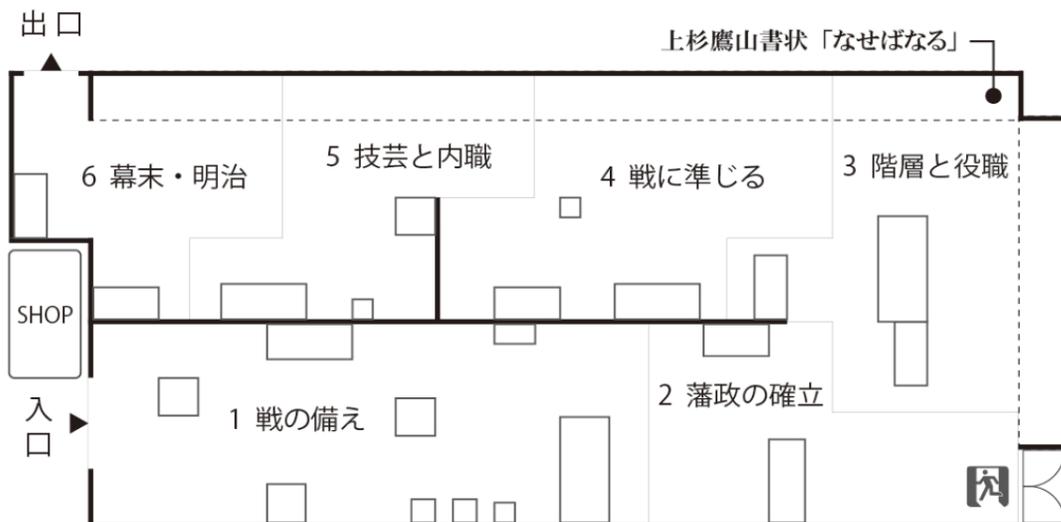
◎ は、初公開資料。展示資料はNo.52を除き、全て米沢市上杉博物館所蔵。No.52は当館寄託資料（米沢金剛会所蔵）。

\* の資料は2月16日（日）まで展示予定。2月18日（火）以降、一部資料を展示替、展示個所替予定。

No.	キャッチコピー	指定・資料群名	名称（指定）	員数	年代（ ）内は推定
<b>1 戦の備え</b>					
1	上級藩士用、揃ってます		鉄錆色紺色系威二枚胴具足（芋川家伝来）	1領	桃山～江戸時代（16～17世紀）
* 2	最上級藩士用!?		紫茶系威二枚胴具足（長尾家伝来）	1領	桃山～江戸時代（16～17世紀）
3	形も色もしっかりチェック	上杉文書	「武器御改帳」	1冊	寛政6年（1794）8月
◎ 4	遠くからでも一目でわかる		「鈴木正庸」旗指物	1旒	江戸時代
◎ 5	貸し出し用		紺糸素懸威桶側胴具足	1領	江戸時代
◎ 6	一人前の証!?		陣羽織	1領	江戸時代（19世紀）
◎ 7	えらい人用		丸に葉沢瀉紋入陣笠	1枚	江戸時代（19世紀）
◎ 8	中級藩士用		黒漆塗丸に九枚笹紋入陣笠	1枚	江戸時代（19世紀）
◎ 9	最下級の足軽用		突笠形陣笠	1枚	江戸時代
* 10	身分に応じて、戦闘配置!	上杉文書	「御先備之図」	1敷	寛文12～延宝2年（1672～74）頃
11	平和だが貧しき中での戦支度	上杉文書	「御当家御軍列」	7冊	明和3年（1766）3月13日
<b>2 藩政の確立</b>					
◎ * 12	一村を皆で分割		上杉氏知行割状	1巻	慶長6年（1601）10月16日
◎ * 13	鷹狩のため若手を選抜せよ		三瀨長政宛 直江兼続書状	1幅	（元和4年・1618）閏3月7日
◎ * 14	権力を支える側近団の育成	国宝「上杉家文書」	近藤宗親・来次朝秀宛 上杉定勝書状	1通	寛永年間（1624～44）6月13日
◎ * 15	即時出兵は武士の務め	池田文書	池田政次・嶋田正信宛 上杉定勝書状	1通（1巻）	（寛永11年・1634）5月16日
16	以後、先例となった会津出兵	上杉文書	「元萬略記 完」	1冊	寛永20年（1643）5月3日条
* 17	領主でも、村を苦しめちゃダメ	上杉文書	「伊達信夫諸給人新古共所納之覚」	1通	寛永20年（1643）10月
<b>3 階層と役職</b>					
◎ 18	軍事こそ藩士編成の基本		分限帳 写	1冊	原本：承応2年（1653）8月
◎ 19	知行取は二割だけ		「出羽国置賜郡之内高辻帳・家中分限帳」	1冊	享保10年（1725）
◎ 20	守衛こそ平時の本務	中津川家文書	与板組御広間番記録	1通（1綴）	（安政4年・1858 閏5月）
◎ 21	階級あつての組織の秩序	武藤家文書	「御家中階級」	1冊	嘉永3年（1850）7月
22	改革を支えた多彩な人材	上杉文書	甘粕継成編「本藩中興名臣録」	3冊	江戸～明治時代（19世紀）
◎ 23	組の格は意地でも守る	丸山家伝来雲井龍雄関係文書	柿崎家孝宛 雲井龍雄書状	1通	（慶応元年・1865）6月25日
◎ 24	米沢と江戸の家老間で		中条清資宛 平林恒広書状	1通	（享保6年・1721）閏7月17日
25	城から役所へ、変わる役割	上杉文書	本庄職長「鮎貝御役屋勤式」	1冊	明和5年（1768）9月
26	在地の有力者	上杉文書	「萬留書之帳」	1冊	明暦3年（1626）12月24日条
◎ 27	税金・戸籍・助成金の事務	蓼沼文書	「天保十三年御済口留」	1冊	天保13年（1842）4月27日条
◎ 28	優秀な官僚、晩年の姿	小嶋家伝来資料	小島熊蔵像	1幅	安政6年（1859）
◎ 29	普段の勤務用	古川家伝来資料	袴	1領	江戸時代（19世紀）
◎ 30	年利4.8%の積立預金		「酒田本間正五郎江御預金留帳」	1冊	寛政9年（1797）8月
◎ 31	お米足りるか、シミュレーション	黒井繁邦文書	勘定定法書	1冊	天保元年（1830）頃
◎ 32	ベテラン同心のキャリア		町奉行所同心日記	1冊	文政9年（1826）12月10日条
◎ 33	緊急用の備蓄倉庫		義倉棟札	1枚	文政10年（1827）8月
◎ 34	森林資源を守ろう		高札	1枚	天明8年（1788）
◎ 35	流通の拠点と国境を描く	高梨源五郎家資料	「荒砥舟渡方大瀬御境目絵図」	1敷	江戸時代（18～19世紀）
36	記録を廃棄せず、活用す	上杉文書	御記録所「御政事書上」	3冊	安永7年（1778）12月23日条
◎ 37	上杉家と上級藩士の物語	伊藤文書	甘粕継成編「米沢新史」稿本	5冊	（慶応2年・1866頃）
* 38	仕事の心構えは、なせばなる!	国宝「上杉家文書」	上杉鷹山書状	1通	（寛政元年・1789）
◎ * 39	殿様の側室にお仕えする	奥山家文書	「瑞昌院様御住居所御役場定法手控」写	1冊	天保12年（1841）5月 写
◎ 40	作法と儀礼のエキスパート	楡井家文書	楡井安元宛 鐘聞堂重光「萬積方之図」	1通	正徳5年（1715）10月

No.	キャッチコピー	指定・資料群名	名称 (指定)	員数	年代 ( )内は推定
<b>4 戦に準じる</b>					
* 41	江戸にいる外交官へ	上杉文書	千坂高信・千坂高治宛 上杉定勝書状	1通	(寛永14年・1637) 11月27日
◎ 42	江戸藩邸から逃げ出す者も		黒井忠寄宛 荻戸善政書状	1通	(寛政9年・1797) 12月9日
◎ * 43	江戸までの道のりを学ぶ		「志ん板 米沢道中双六」	1枚	江戸時代 (19世紀)
◎ * 44	お殿様の宿泊所		「上杉弾正大弼」宿札	1枚	江戸時代 (19世紀)
◎ * 45	今も昔も、旅の楽しさ		道中風俗図屏風	6曲1双	江戸時代後期 (18~19世紀)
◎ 46	上級藩士が威儀を正して	栗林家伝来資料	火事装束	一式	江戸時代 (19世紀)
◎ * 47	えらい人用		火事兜 (千坂家伝来)	1頭	江戸時代 (19世紀)
◎ 48	火災時の持ち場を定める		「火事有之節二之丸三之丸御廟火防請取場所之定」	1通	寛政11年 (1799) 6月
<b>5 技芸と内職</b>					
◎ 49	血筋より、能力重視で	黒井繁邦文書	「秘録」	1冊	江戸時代 (19世紀)
◎ 50	殿様に、はしかの診断	伊東家文書	「御容体書」	1通	(年未詳) 7月12日
◎ 51	米沢の絵師と幕府の儒者		目賀多雲川筆 聖賢図	3幅	江戸時代 (18世紀初頭)
* 52	舞い、謡う武士	米沢金剛会寄託資料	能面 大癒見・深井	各1面	江戸時代後期~近代
◎ 53	米沢の郷土刀		刀 銘(表)於東都長寿斎綱俊長運斎是俊 (裏)万延元年極月	1口	万延元年 (1860) 12月
◎ 54	お抱え大工の仕事		大工頭覚留帳	1冊	延享3年 (1746) 8月13日条
◎ 55	軍事は政治に通ず	栗林家文書	印脈・守尊・貫軸	各1幅	江戸時代 (18世紀中頃)
◎ 56	砲術を通じた他藩との交流		小野里長保宛 武衛流砲術伝書	1巻	寛政7年 (1795) 正月吉日
◎ 57	貧しさを楽し気に描く	宮島家文書	伝宮島誠一郎筆 貧時難行図	1幅	明治時代 (19世紀)
◎ 58	戦いが近づくも、野菜作りに励む宮島家文書		宮島吉利「年中萬留帳」	1冊	慶応4年 (1868) 閏4月2日条
◎ 59	お金を素早く数える	古川家伝来資料	銭枿	1点	慶応2年 (1866) 12月 墨書
◎ 60	多彩な武士の内職事情	古川家文書	「清野大学下屋敷家業歳附面附帳」	1冊	安政4年 (1857) 4月
◎ 61	筆の内職、儲かります！	楡井家文書	「米沢方筆送控帳」	1冊	安政4年 (1857)
<b>6 幕末・明治</b>					
◎ 62	庄内藩の政治動向を探れ		雲井龍雄日記屏風	2曲1隻	(慶応3年・1867)
◎ 63	スキルアップでチャンスを掴め	栗林家文書	栗林政克「記録 附徒目付触 一~五」	5冊	慶応元年 (1865) 3月1日条
◎ 64	近代化した上杉軍団	上杉文書	「諸口御固 最上越後御出勢人数」	1冊	明治元年 (1868) 5月1日条
◎ 65	藩主を守る親兵隊の証	楡井家文書	○にニ紋 旗	1旒	明治元年 (1868) 頃
◎ 66	藩主を守る親兵隊の証	楡井家文書	○にニ紋 肩章	2枚	明治元年 (1868) 頃
◎ 67	後ろから見るとおしゃれ		夏用軍服上着	1着	明治3年 (1870) 頃
◎ 68	一目でわかる新たな部隊編成	上杉文書	「軍政便覧」	1敷	(明治2年・1869)
◎ 69	名前も変わる、役割も…	楡井家文書	「官員録」	1冊	明治3年 (1870) 10月
◎ 70	結束し仕事と生活を守る		米沢興産社関係資料	3冊	明治4~17年 (1871~83)
◎ * 71	明治期にも続く土族の活躍		「一市三郡有名一覽」	1枚	明治25年 (1892) 11月7日

コレクション展「米沢藩 武士のお仕事」案内図



ギャラリートーク (展示解説)

3月7日 (土) 「米沢藩士の仕事百景」

・いずれも14時~、企画展示室にて。

・要コレクション展入館料。

最新情報はこちらをチェック☑



ホームページ



Twitter

@uesugi\_museum